



みらい創造一号ファンドが、投資第 5 号案件群として
東工大関連ベンチャー 4 社への新規投資を実行致しました
～投資先は合計 19 社に～

2019 年 10 月 24 日
株式会社みらい創造機構

株式会社みらい創造機構（代表取締役：岡田祐之、以下「みらい創造機構」）は、2016 年 9 月に「みらい創造一号投資事業 有限責任組合（通称：みらい創造一号ファンド）」を設立し、我々が有する産業界との幅広いネットワークを活用して、大学と社会との連携強化から新産業創出に向けた活動を行ってまいりました。

既に 15 社への投資を実行してきましたが、新規に 第 5 号案件群として、株式会社 Libry、株式会社 3D Printing Corporation、メドメイン株式会社、株式会社 QD レーザの 4 社に投資を実行し、投資先は全体で 19 社となりました。

【新規投資先】

1. 株式会社 Libry

事業：中高生向けのデジタル問題集「Libry（リブリー）」の開発、等
種別：東工大“発”ベンチャー（東工大ベンチャー称号保有）

<https://about.libry.jp/>

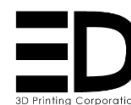


2. 株式会社 3D Printing Corporation

事業：3D プリンターを活用した設計・コンサルティング及び 3D
プリンターの販売、等

種別：東工大の学生・卒業生が創業に関わるベンチャー
（CTO が東工大博士）

<https://www.3dpc.co.jp/>



3. メドメイン株式会社

事業：Deep Learning による病理画像診断ソフト「PidPort」の
開発、等

種別：九州大学発ベンチャー（東工大との共同研究等協議中）

<https://medmain.net/>



4. 株式会社 QD レーザ

事業：半導体レーザー、アイウェアの開発、等

種別：(株)富士通研究所のスピンオフベンチャー

(東工大との共同研究等協議中)

<https://www.qdlaser.com/>



【当ファンドの特長とこれまでの取り組み、今後の投資領域について】

当ファンドは、「東工大」関連の人・技術を中心とするベンチャー企業への投資を積極的に行っており、本案件で 19 社への投資を実行してきました。19 社の領域としては、宇宙/機械、半導体/電子機器、素材/化学、医療/ヘルスケアテック、センサ/IoT、AI/ビッグデータ、エンタメ/スポーツテック、建築/不動産テック、教育テック等幅広く、今後も多様な業界・領域のポートフォリオを組んでいきます。

今後とも、引き続き東工大関連ベンチャーを中心に積極的に投資を実行予定です。

＜当ファンド投資対象＞

- ① 東工大の研究成果を活用したベンチャー
- ② 東工大と企業とのジョイントベンチャー
- ③ 東工大の卒業生・関係者が創業したベンチャー
- ④ 東工大“着”ベンチャー（東工大技術・研究成果を導入または導入予定企業等）
- ⑤ その他の大学・研究所関連ベンチャー
(医学、農学、海洋領域等について東工大を含む大学その他の研究機関等と連携)

【みらい創造機構について】

みらい創造機構は、2016 年 5 月に東工大と社会連携活動の推進に向けた組織的連携協定を締結し、共同研究・学術指導の推進、人材教育支援、ベンチャー育成支援等を行ってきました。連携協定に基づき、当ファンドを通して東工大とともに技術系ベンチャーの創出・発展を加速する取組みを展開してきました。当ファンドへの出資者と密接に連携しながら、資金のみではなく、「ヒト・モノ・情報」も含めた総合的な支援により、新産業の創生および投資リターンの極大化に全力を投入して参ります。

●みらい創造機構

TEL : 03-6311-6958

E-mail : info@miraisozo.co.jp

URL : <http://miraisozo.co.jp/>